

(法第28条第1項関係様式例)

平成30年度事業報告書

平成30年 4月 1日から 31年 3月 31日まで



特定非営利活動法人九州災害救助犬協会

1 事業の成果

30年度は、九州各県の行政及び自治体の防災意識が上がってきており、協会に対しても各県の要請が増えてきている。それに伴い支出増となっている。昨今災害も多く発生し、今後も活動の機会が増える事が懸念される。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
①	災害実働・会議 搜索実働・防災訓練	各県の総合防災訓練、防災会議(20回) 災害時の搜索実働(大分県)理事会(5回)				1014
②	搜索訓練・合同訓練 瓦礫・服従・平地	指導士会の搜索訓練(毎月1回) 消防緊消防隊、警察広警隊との合同訓練				1053
③	イベント事業 1、防災イベント 2、ゴルフイベント 3、高速イベント	自治体主催の防災イベント(年2回) 第13回チャリティーコンペ城南G/C 九州自動車道広川サービスエリア				1138
④	救助犬競技会 認定審査会	11月/訓練競技会 8頭参加 31/2月審査会 30頭認定				509
⑤	今年度は実施無し					0
⑥	イベントの中で行っ た事業(国東ドッグ)	国東ドッグフェスタ in 2018 人吉・熊本訓練所における躰教室				359

- 1、災害時及び搜索要請の救助活動事業
- 2、災害救助犬の育成訓練事業
- 3、イベントチャリティーショー事業
- 4、災害救助犬認定審査に関しての指導及び手続き代行事業
- 5、老人ホーム・医療施設・保育園等の慰問事業
- 6、家庭犬の「躰」指導事業

平成30年度 活動計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(特定非営利活動法人九州災害救助犬協会)

科目	金額 (単位: 円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
法人会員受取会費	750,000		
賛助会員受取会費	74,000		
理事・役員会費	129,000		
指導士入会金			
指導士年会費	120,000	1,073,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	979,575		
施設等受入評価益		979,575	
3 受取助成金等			
受取民間助成金		0	
4 事業収益			
災害時の災害救助活動事業収益			
災害救助犬の育成訓練事業収益	40,000		
チャリティショー事業収益	211,250		
災害救助犬認定審査に関する指導及び手続き 代行事業収益	162,000		
老人ホーム・医療施設・保育園等の慰問事業収益			
家庭犬の「躰」指導事業収益	0	413,250	
5 その他収益			
受取利息	24		
雑収入	0	24	
経常収益計			2,465,849
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	150,000		
臨時雇賃金			
法定福利費			
人件費計	150,000		
(2) その他経費			
事業費	380,721		
事務費	591,195		
備品費	232,660		
広告費			
旅費交通費	627,008		
通信運搬費	270,819		
車両費	464,627		
消耗品費			
水道光熱費			
地代家賃			
保険料			
雑費	714,650		
その他経費計	3,281,680		
事業費計		3,431,680	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
役員報酬			
福利厚生費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費			
通信運搬費			
印刷製本費	148,141		
消耗品費	26,751		
備品費			
水道光熱費			
地代家賃			
保険料			
会議費	235,912		
雑費	232,190		
その他経費計	642,994		
管理費計		642,994	
経常費用計			4,074,674
当期経常増減額			-1,608,825
III 経常外収益			
1 固定資産売却益			
経常外収益計	0		0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損			
経常外費用計	0		0
当期正味財産増減額			-1,608,825
前期繰越正味財産額			5,696,679
次期繰越正味財産額			4,087,854

計算書類の注記(平成 30年度)

法人名：(特定非営利活動法人九州救助犬協会)

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

(2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

(3)ボランティアによる役務の提供

(4)消費税等の会計処理

税込方式を採用しています。

2. 事業費の内訳

(単位:円)

科目	①事業費	②事業費	③事業費	④事業費	⑤事業費	⑥事業費	合計
(1)人件費							
給料手当	30,000	30,000	30,000	30,000	0	30,000	150,000
臨時雇賃金							0
福利厚生費							0
人件費計	30,000	30,000	30,000	30,000	0	30,000	150,000
(2)その他経費							
活動費	182,840	182,840	182,841				548,521
事務費	86,165	86,165	86,165	86,165	0	86,165	430,825
備品費	116,330	116,330			0		232,660
広告費	77,490		77,490		0		154,980
旅費交通費	125,404	125,401	125,401	125,401		125,401	627,008
通信運搬費	80,648	80,644	80,644	80,644		80,644	403,224
車輛費	154,877	154,875	154,875		0		464,627
消耗品費					0		0
会議費	123,495		123,495				246,990
訓練所整備費		240,000	240,000	150,000			630,000
雑費	37,171	37,167	37,167	37,167	0	37,167	185,839
					0		0
					0		0
					0		0
その他経費計	984,420	1,023,422	1,108,078	479,377	0	329,377	3,924,674
合計	1,014,420	1,053,422	1,138,078	509,377	0	359,377	4,074,674

- ① 災害時の災害救助活動
- ② 災害救助犬の育成訓練
- ③ チャリティショー
- ④ 災害救助犬認定審査に関する指導及び手続き代行
- ⑤ 老人ホーム・医療施設・保育園等の慰問
- ⑥ 家庭犬の「躰」指導

3. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
合計	0	0	0	0	0	0

4. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

平成30年度貸借対照表
平成 31年 3月 31日現在

(特定非営利活動法人九州災害救助犬協会)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1流動資産			
現預金	4,087,854		
.....			
.....			
流動資産合計		4,087,854	
2固定資産			
.....			
.....			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			4,087,854
II 負債の部			
1流動負債			
.....			
.....			
.....			
流動負債合計		0	
2固定負債			
.....			
.....			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,696,679	
当期正味財産増加額(減少額)		1,608,825	
正味財産合計			4,087,854
負債及び正味財産合計			4,087,854

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 (①)の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあつては「その他の事業」と記載し、それぞれ区分して別葉として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

平成30年度財産目録

平成31年3月31日現在

(特定非営利活動法人九州災害救助犬協会)

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	13,608		
普通預金 熊本銀行 近見支店	1,062,009		
普通預金 肥後銀行 熊本市市場支店	3,012,237		
未収金(××年度会費×名分)			
流動資産合計		4,087,854	
2 固定資産			
土地(〇〇平米)			
.....			
.....			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			4,087,854
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金(〇〇銀行〇〇支店)			
.....			
.....			
.....			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金(〇〇銀行〇〇支店)			
退職給与引当金			
.....			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			4,087,854

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 (①)の部分には、財産目録を会計ごとに区分して作成する場合には、「特定非営利活動に係る事業」、又は「その他の事業」と記載し、それぞれ別葉として作成する。(ただし、財産目録については会計ごとに作成せず、法人単位に作成すること考えられる。その場合、この書類の題名は、単に「財産目録」となる。)
- 3 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。